

命名 明(めい)に決定!

土岐・運・来

「自然・人・馬の会」の半持
ち馬の名前が決まりました。明(め
い)ちゃんです。みんな可愛がつ
てあげて下さい♪

たくさんの応募ありがとうございました。

そしてたくさんの寄付をしてい
ただきありがとうございます。半
持ち馬の購入代金として(五)五、
〇〇〇円かかりました。

八月二六日現在までの寄付金状況
・寄付金 三三一、九二円
・果実募金より一五〇、〇〇〇円
・……………
☆合計 四七一、九三三円
★八月二六日現在での不足額
五三一、〇七八円

明の利用状況のおしらせ

サドルバッグで明らかに乗れます!

一人……一、〇〇〇円
(自然・馬・人の会に払って下さい)
ただし、高校生以下のボランティアの方は無
料です。

(敬称略とさせていただきます)
小沢弘幹・星野生閃・溝口翔悟・
渡辺桃子・北村治・村松俊樹・斎

藤明子・下田千夏・遠藤友樹・宮城三恵子・
八幡久・田所清人・城山健一郎・中山信義・
石坂航太・吉原恭子・大木啓子・鈴木政之・
小澤徳崇・齊藤亮介・山崎朋子・石川貴明・
小山照子・田中伸幸・石塚玲子・神谷友美・
桜井広利・中村悦子・八重樫茂子・八重樫文
子・橘川京子・川口佑樹・森裕美子・竹村弘
子・木下淳司・木下由佳・井上正・関野政一・
濱本由美子

以上

八月二六日過ぎに入金していただいた方は
お名前が載っていません。次回の報告の時に
お知らせします。寄付して下さる予定の方で、
まだ入金していらっしゃらないかたはよろし
くお願いします。

管理費について

毎月、サドルバッグに支払う管理費が四一、
〇〇〇円かかります。この管理費は、明(め
い)の騎乗料から支払っています。

七月 三五、〇〇〇円不足
八月 三八、〇〇〇円不足

☆前回出したお便りでは、バザーなどの収益
金(特別会計)を半持ち馬代に充てるようお
知らせしましたが、果実基金と皆様から頂く
寄付金で、半持ち馬の購入代金は支払いのめ
どがたちましたので、特別会計のお金は、今
後心配される管理費の方にあてさせていただ
きます。

(橘川京子)

会報	「土岐・運・来」 第十二号
発行	自然・馬・人の会
発行日	二〇〇〇年九月十四日
ただいまの会員数	六十三六三

八月二六日にサドルバックにてボランティアを対象とした研修会と交流会が併せて開かれました。その模様のレポートです。

八月二六日。この日はサドルバックで研修会を行いました。天気にも恵まれ、十三人の方々が集まりました。まずはみんなでブランガけど、てっぴ(※)がけをしました。そして馬装をして湯河原の星ヶ山へ車で行きました。この星ヶ山は、とても眺めのいい所で、真鶴半島や大島などを一望することができます。また、とても涼しく自然のクーラーの中にいるようでした。私達は草原の中を、ゆったりと走ってきました。それは、まるでモンゴルやアメリカの大草原の中を走っているようでした。みなさんも、ぜひ体験してみたらいいがでしようか。

馬に乗っていました。自分も二セ王子様にふんし、初めて明(メイ)に乗ってみたのですが、まだ人を乗せる」とになれないせいいかがでしようか。メグちゃんも王子様にふんし、さつそうと馬に乗っていました。自分も二セ王子様にふんし、初めて明(メイ)に乗ってみたのですが、まだ人を乗せる」とになれないせいいかがでしようか。

交流会では、高橋さんや吉川さんも参加してくれて、とてもなつかかな雰囲気につつまれていました。ちなみにレストランには、高橋さんと吉川さんにそっくりな人形が置いてあります。

こうして外乗することにより、自然と馬と人に慣れることができます。とても良い一日でした。みなさんも、ぜひ、明(メイ)に乗ります。

※てっぴ……馬の蹄(ひづめ・爪の)と
に入った泥などの汚れをきれいにする道具です。

※※外乗(がいじょう)……馬場を出て、
野や森の中で馬を歩かせること。

今回の研修はボランティアを対象に行われたものですが、明(メイ)に子供を乗せた状態での引き馬の練習をする必要があり、特別にメグちゃんに協力していただきました。

(北村治)



夏の暑い研修会が、涼しい楽しい研修会となつたのは、先頭で力強いリードをしてくれた吉川さんのお陰です。楽しい乗馬は、馬を知ることのようです。「何度もやってみるといいですよ」と斎藤さんの言葉通り、一度や一度では馬を知ることはできないけれど、この研修はお薦めです。楽しいと思えたら次に進むステップが、軽くなります。

娘のシンデレラゴシコに付きあつてくれたきのちゃん・ウツキー・石塚さん、王子様役の愛ちゃん、にせ王子さま役の北村さん。お疲れさまでした。研修会に皆さんも参加していませんか? 但し、次回はハードな研修かこの夏、三度目のサドルバック。若い人達に、馬装を教えてもらつ。はみに、四苦八苦。

八月の最後の土曜日、我が子と一緒に研修会に参加しました。朝から「馬、馬」とルンルン気分の娘。「今日は、馬の勉強に行くんだからね」と、念押して家を出発。

そして、外乗(※※)を終え、交流会での食べ物を調達する人と、かたづけをする人と別れました。愛ちゃんも買い物を手伝つてくれました。

乗馬△△から

七月九日の乗馬会から

参加人数

会員

三六名

当日受付

二五名

ボランティア

三八名

前日までの雨模様がどこへ？と思わせる

ようなびかびかの良い天気に恵まれました。

梅雨明け前とはい、日射しはもう間違いな

く夏。そのため、馬も人も暑さ対策をしながらの乗馬会となりました。茅ヶ崎からは翔の

会の方を四名お迎えしました。乗馬だけでな

く木陰でお弁当を広げてお昼過ぎまでくつろ

いで行かれました。小山さんを中心バザー

も開かれ、いろいろな方が集まるなどやかな

景色の一日となりました。

毎回の乗馬会では、少しずつ工夫をしてい

ます。

七月の工夫その一

一時間のうち一人あたりの乗馬回数を二回にしてみました。今までの一時間のうち二

四回程度の乗馬ですと、上馬・下馬（馬への乗り降りのこと）に時間がかかり、乗馬の内容が細切れになってしまいがちでした。

そこで、馬場も広めに取り、「乗ったなあ！」と満足感がより味わえるようにしてみた、というわけです。もちろん、体調などの様子で、二、四回程度がふさわしい方

には今まで通りで行います。

工夫その二

下馬はざるりとしつかりと。だんだん上馬・下馬に慣れてきた方が増えています。

ボランティアのヤギさん（田所さん）のアドバイスによれば、「できる方は箱形の踏み台を使わず自力で乗り降りできた方が、体のためにも安全のためにも望ましい」

とのこと。そこで、飛びついで乗れる方はそのように、まだ、下馬はおなかを鞍につけてずるずると降りてくるようにしてみました。こうすると、ゆっくりと自力で降り地面に足をつけられるため、体が安定してよろけることが防げます。

工夫その三

午後の日程を一〇分繰り下げて、一時一〇分開始としました。馬も人も、充分な休憩で安全や安心が保てます。ボランティアの午前の片づけや個人カード記入、昼食などにかかる時間を考えて、このように変更しました。次回からもう一回の受付時間で行いたいと思いますので、お気をつけ下さい。

今回の乗馬会は、事前予約の方が都合で半数に減り、のんびりゆったりの人数になりました。歩いている馬の背中で座る向きをぐるりと変えたり、スラローム（ジグザグの乗馬コース）で手綱操作を何度も練習したり、今までより長い距離の速足で乗馬に挑戦したり、周りでも見応えのある練習が行われました。



…その代わり、騎乗料も半減し、七〇〇円程度の赤字が出てしましました。今後キャンセルの時どのようにしていくべきか、考え直さなければならぬかもしません。
最近、ボランティア不足に悩んでいますが、ホームページで情報を知り駆けつけてくれた方など、少しずつ新しい仲間が増えているのは嬉しいこと。これからも、ご協力よろしくお願ひいたします。（濱本由美子）

参加人数

会員

三三名

当日受付

三七名

ボランティア

三〇名

八月が休会で、皆さんと二ヶ月ぶりの再会となりました。九月とは云え残暑の中での乗馬会です。上空は人道雲ではなく平たく秋の雲になりましたが…。

七月の乗馬会に比べれば馬たちは夜が涼しくなつたせいか元気でした。いくらか人間の方が元気がないと感じたのは気のせいでしょうか。しかしそこには、いつもの笑顔がありました。

仕事柄めったに乗らない通勤電車に乗り会わす時がありますが、そこに同じ笑顔を見つけることが出来ないのは、当たり前のことで悲しい現実です。我々は、「人と人」「馬と人」そして会の目指すところの「自然と馬と人」会の存在意義を、その笑顔の中に見つけることが出来ます。

乗馬もさることながら、昼食は乗馬会の楽しみの一つです。同じ時間馬たちも食事をとります。ハミをはずし、鞍を背中からおろし馬たちもお昼休みです。馬と人間では食べ物の好き嫌いが有つて食べるものが違いますが、同じ時間を過ごします。…お恥ずかしながら、トウモロコシの芯を馬が食べることを私は知りませんでした。(思い出せば、



子供のころ牛の餌にトウモロコシを近くの畑で育てていた。) 私がトウモロコシの美味しさだけ食べて、その芯だけ与えるのは、罪悪感が残りましたが。…まだ解らないことが沢山あります。何が解つていないのかも解りません。人から学ぶこと、生き物から学ぶこと自然から学ぶ」とまだまだ沢山あるようです。

私事ですが朝人四キロだった体重が帰つたら八一キロになつていきました。夏の間、各地の乗馬会に十六回参加すると標準体重になる計算です。…収穫の時期をむかえ、食欲の秋はもうすぐそこまで来ています。

(関野 政一)

★白いキュロットの小西姉

七月九日の乗馬会に、初めてボランティア参加させて頂きました。

朝 小田原城一の丸に着くと、早速ペイロング並べが始まつていて、その後もテント設営、馬装、騎乗研修、引き馬と、我ながらまつたく休む暇もなく、よく働いたものだ、と思いました。

大きい馬のいた当日申し込み騎乗馬場での曳馬は常歩だけだったので、楽でしたし、たまに馬が空いて乗せてもらつて速歩できるのがよかつたですね。

小さい馬の大馬場は、ポニー馬を速歩させる子供たちに随伴して、曳く人もサイドウォーカーの人も走る走る…! これは激務でしたが、午後はすーっとこれをやつてました。小田原ケーブルテレビの取材の方も来て、私も「すみれちゃん」ケーブルテレビに出演することになりそうです。

私は、乗馬は出来るのですが、長時間、曳き馬をしたりすることはなかつたので、大変勉強になりました。ウエスタン式馬具を扱つたのも初めてでした。それでも、私の行って

自然・馬・人の会の活動は沢山のボランティアさんによつて支えられています。そんなボランティアさんの乗馬会レポートです。

いる乗馬クラブでは馬装は自分でやれるので、身に付けた馬装技能や馬馴れというものは、こういうときになつて役立つものだなあと、一人で内心感動していました。

夕方、終わつてみると、汗だくになつてしまつたが、馬にも乗れたし、勉強にもなつた有意義な一日でした。

ボランティアでもらつたアンケート用紙の質問項目には、「馬の調教が出来る」「馬に関する(獣)医学的知識がある」「肢体不自由者、情緒障害などに関する知識がある(医師・PTほか)」など、上級の項目もあつて、馬に乗れるだけではまだまだで、更に上の世界



があることだなあ、将来はこういう項目に○がつけられるようになりたいものだ、と思いました。

編注・小西さんは、このたび北海道の乗馬クラブへ転職されたことが決まりました。

乗馬会でお会いできなくなるのは、とても残念なことですが、「自然・馬・人の会」常設特派員として、北の大地からのリポートをお待ちしています。詳しくは、ホームページ(アドレスは

卷末記載)の掲示板をご覧下さい。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

★秦野の石塚さん

小田原城址公園を中心に行つてているボランティアの方々、または、会員の皆様、秦野市よりのニューフェイス、石塚玲子こと『れいこちゃん』をよろしくお願ひします。

年上の方(少なそう?)から年下の方、もちろんお子様まで、こんな風に呼ばれたなら幸せ。

ところで、秦野市でも小田原のような乗馬の機会を設けようと、いろいろな方々(教育委員会、議員、乗馬クラブなど)が動いてくださつて、その中最中です。何も知らない私は、この馬に乗れるチャンスじゃないといばかりに、秦野市の講習会に申し込みをしました。馬について教えてくださる先生方にびっくり。世田谷区、江戸川区、横浜市、小田原

市よりきていただいております。

先日、中村さんよりお誘いいただきて、根府川のサドルバックで馬に乗せてもらいました。クラブ内のミニ遠足(もちろん馬に乗つちやつて)あ、いい気持ち。ということを体験しました。次は、場外乱闘(外悪)した

いなあと思つています。

子供と動物土岐・運・来 第十二号が好きで、秦野の宮ちゃん(宮成さん)とがんばりますので、小田原の先輩方よろしくお願ひします。



TADERの乗馬会に参加して

七月二日に、山梨県紅葉台の木曽馬牧場で行われたTADER（東京障害者乗馬協会）の乗馬会に参加しました。この会は、いつも私達の乗馬会を手伝ってくれている井上正さんが活動している会です。お互いに情報交換をしましようということでは、私がボランティアとして参加してきました。

TADERの乗馬会で最初に驚いたことは、参加人数が少なかつたことです。騎乗者五人、ボランティア八人。自然があふれる中で、ゆつたりと時間が流れしていく感じでした。

次に、参加者の年齢層でした。今回は、就学前のお子さんも一人参加されていましたが、多くは、成人の方だと伺いました。乗馬の目的も、「TADER」はスポーツ、「自然・馬・人の会」はレクリエーションと違いました。もともと、私達も会を起こしてから今年で四目になり、そろそろレクリエーションだけに留まらず、もう少し幅を広げたいという思いはあるのですが……。

経費の面では、入会金二四〇〇〇円、年会費一〇〇〇〇円、一回の参加費二〇〇〇円、騎乗料は一鞍十五分程度で一〇〇〇円でした。（午前中に一鞍（※）午後に一鞍乗ります）ゆつたり乗るためには、それなりの出費があります。でも、会の前代表者がシドニーのパラリンピックに参加されたり、他の方たちも障害者乗馬の全国大会に参加するなど、素晴

らしい成果も上げておられます。

一番はつとしたのは、私達の会では全く行っていなかった血圧の測定でした。乗馬する前に、血圧を一人ずつ測っていました。騎乗する前にも充分時間をかけていました。私は、健康チェックを保護者や、ご本人にお任せしてしまっているので、今後、何らかの方法を考えなくてはと思いました。

本格的にスポーツとして乗馬をなさりたい方は、一度見学に行かれると良いと 思います。体験乗馬は、参加費三三五〇〇円（保険料五〇〇円）と騎乗料のみで参加させてください

そうです。（三回まで）

※ 一鞍……乗馬をするときの単位。たいてい、一鞍は二〇分から四五分程度をいう。

（中村 悅子）

（中村 悅子）



「馬と健康社会」研究発表会レポート

去る一月十八日、「チャウチャウ」と通じるの紹介で「馬と健康社会」第八回研究発表会へ参加させて頂きました。その一部を紹介いたします。

テーマ 「乗馬と健康を考える」

(二) 障害者乗馬の研究活動紹介と文献調査報告(三田勝巳さん)

(一) 高齢者と馬との触れあい

(荒谷穰治さん)

(二) 乗馬ヒーリング(植田まゆみさん)
の発表がそれぞれありました。

愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所の三田先生は、計測技術の専門家です。様々な実験とその結果得られたデータをもとに、寝たきり等の状態における障害者の特性を明らかにし、その上で障害者乗馬に期待される効果と可能性について報告されました。実験は循環調節機構と自律神経の状態について、健常者、座位の保てる障害者、寝たきり障害者の二者のデータを計測し、考察を加えました。

「循環調節機構」とは、血圧や心拍数などの血液循環器の調節機能をいいます。健常な人が朝、目覚めて体を起すと、まず血圧が低下します。「この血圧低下を体内センサーが感知すると、その対抗処置として、心拍数を上

げ、拡張の血管を閉める等の働きを自動的に行なっています。

「自律神経の状態」は、寝起きをする時に表れる交感神経と副交感神経の作用する度合いの変化に着目します。健常な人が寝ている状態から体を起すと、それまで働いていた副交感神経の作用が弱まり、代わりに交感神経が強く作用し始めます。つまり、ボクとしていた頭が、徐々にすつきりしてくる裏では、このような自律神経の働きがあります。

これらの実験の結果は、驚くべきものでした。健常な人の場合は、右の様にそれぞれ働くことによって、さらに身体の状態を悪化させてしまう可能性があるというわけです。よつて、今日の医療では完全な寝たきり状態にならないように、全身持久力の運動が提倡されています。また、寝たきりの障害者を徐々に乗馬ができるようになります(トレーニングなど)も実験的に行われています(R.D.A)。乗馬は、実際に歩けない障害者でも、自分の足で歩く運動に相当する運動となるからです。

新谷先生は、老人保健施設グリーン・ポート小松に勤めるお医者さんです。もともと衛生学を専攻されておりましたが、現在は老年医学を研究されています。現在の老年医学は様々な問題に取り巻かれる状況にあります

のレポートでした。新谷先生の勤める老人保健施設に、ある日、ボニーがやってきます。

この出来事は、施設の老いた方々に大きな変化をもたらしました。それまで、何を話しても口を開かなかつたお年寄りの顔に、表情が蘇つたこと。最近の出来事を殆ど覚えていられない方が、馬がやつてきたことだけは覚えていて、「次に来るのはいつか」と尋ねられたこと。昔、小さかつた頃に体験した馬との触れ合いを思い出す(長期記憶)ことによって、より円滑なコミュニケーションがはかれるようになつたこと。

これらの変化は、始めは半信半疑だった新谷先生でさえも、目をみはる光景だったそうです。さらに、それら一つ一つの変化を老年医学の立場から検証しながら、現代社会が抱えている老人病特有の問題や、介護における行き詰まりを解決する為のヒントが含まれていることを訴えられていました。この事例は、私たち「自然・馬・人の会」の今後の活動についても、大きな意味と示唆を投げかけられていると思いました。

紙面の都合により、すべて紹介できないのが、とても残念ですが、この「馬と健康社会」の研究発表会には、今後も積極的に参加させて頂きたいと思いました。その際は、またレポートをさせて頂きますので、ご期待下さい!

乗馬会の予定

一〇月 八日 (日)
十一月 二六日 (日)

交流会の予定

学習会のお知らせ

毎月第三木曜日

十九時から

桜井広利宅にて

(内容)

馬のことや障害について。

他団体の研究会への参加報告等。

やつて欲しい内容がありましたら、是非、お
知らせください。

第十二号 土岐・運・来

いつもボランティアとして大活躍の小松愛
子さん(通称アイちゃん)が、ステキな新聞
を作ってくれました。

その名も「乗馬新聞」!

すべて、掲載できないのが残念なのですが、
一部を紹介させていただきます。
全部見たつい。もつと見たい。というかた
は、乗馬会までは是非、おこしくださいませ。

乗馬新聞

発行者 小松愛子 年月日

10才

馬のことって……NO.1



いつも大変お世話になっております。あのサドルバックの公式ホームページができました。
同じみの馬達はもちろん、サドルバックでも乗馬の案内もばっちり紹介されています。
是非一度、アクセスしてみてください。

Home Page <http://www.saddle-back.com>

E-Mail voice@saddle-back.com



自然・馬・人の会つて？

——こんな会です。

——こんな活動をしています

□¹家族体験乗馬券を差し上げます。
(乗馬券参加時)

☆運営委員会・会員の中より自主参加。

役割分担をして会の運営にあたります。

馬がいる。子供がいて、おばあさん、おじいさんがいる。車椅子で来た人が背筋を伸ばして馬に乗っている。仲間とやつて来てサイドウォーカーをやつている若者が声をかけている。馬が駆け出すと歎声があがる。広がる。補装具を足につけた子が、ここで出会った友だちとボール遊びをしている。取り

そなつて転がったボールを一緒に来たお父さんお母さんがあわてて取りにいく。豚汁のみその香りが、ぶーんとただよう。昼食を囲むテーブルの向こうで、アサート、カリンバなどの楽器を鳴らして遊んでいる人たちがいる。本を読んでくれる人のまわりで子供が一

心に耳を傾ける。

これが小田原の乗馬会の風景です。乗馬会には誰もが参加できます。誰もが同じ場所でお互いに関わりを持つたり持たなかつたりしながら、それでも目のすみにそれぞれを感じながら、それぞれの豊かな時を過ごしている。

そして参加する人はみんなそれぞれ楽しんでいます。そのこと——みんな一緒ということが、今の時代にはとても大切な事だと思うのです。そして、みんな一緒にすることからどんな発想が出来事が生まれてくるのか、とても楽しみです。本当にこれから何かが動き出していくような気がします。あなたもそれをわたしたちと一緒に体験してみませんか。

土岐・連・来
第十二号

馬がいる。子供がいて、おばあさん、おじ

いさんがいる。車椅子で来た人が背筋を伸ばして馬に乗っている。仲間とやつて来てサイ

ドウォーカーをやつている若者が声をかけて

いる。馬が駆け出すと歎声があがる。広がる。補装具を足につけた子が、ここで出

会った友だちとボール遊びをしている。取り

そなつて転がったボールを一緒に来たお父

さんお母さんがあわてて取りにいく。豚汁のみその香りが、ぶーんとただよう。昼食を囲むテーブルの向こうで、アサート、カリンバなどの楽器を鳴らして遊んでいる人たちがいる。本を読んでくれる人のまわりで子供が一

心に耳を傾ける。

これが小田原の乗馬会の風景です。乗馬会には誰もが参加できます。誰もが同じ場所で

お互いに関わりを持つたり持たなかつたりしながら、それでも目のすみにそれぞれを感じながら、それぞれの豊かな時を過ごしている。

そして参加する人はみんなそれぞれ楽しんでいます。そのこと——みんな一緒ということが、今の時代にはとても大切な事だと思うのです。そして、みんな一緒にすることからどんな発想が出来事が生まれてくるのか、とても楽しみです。本当にこれから何かが動き出していくような気がします。あなたもそれをわたしたちと一緒に体験してみませんか。

☆乗馬会

・毎月一回

小田原城址公園内歴史見聞館東側にて

・事前受付・個人プログラムに合わせ仲間と

と共に継続して乗馬を楽しめます。

・騎乗料……1000円

・当日受付・乗馬が初めての方でも体験でき

るコーナー。

2周引き馬料……500円

☆会の馬(半持ち馬)に格安で乗馬できます

会員、ボランティア会員の方は1000円

で、中学生以下のボランティア会員の方は

無料! (サドルバックにて)

☆小田原市への働きかけ

わんぱくらんど等の運営について、提案を行っていきます。

☆運営委員会

この会を運営、進行していく為に月一回

程度、話し合いを持ちます。

——こんなメンバー・資金で構成しています

☆お問い合わせ

二二五〇一〇〇四五

小田原市城山一・三・二二一

自然・馬・人の会代表 桜井 広利

T E L ○四六五・三二一・二二〇八

F A X ○四六五・三二一・二二三二

☆年会費・協賛金などの振込先

便振替口座100170479944

月切り替え 会費は通信費・事務費・印刷費等に使われます。

□会報(年四回)・乗馬会日程(毎回)

☆会員・家族単位で年会費二四〇〇円(4

月切り替え)会費は通信費・事務費・印刷費等に使われます。

□会報(年四回)・乗馬会日程(毎回)

いさんがいる。車椅子で来た人が背筋を伸ばして馬に乗っている。仲間とやつて来てサイドウォーカーをやつしている若者が声をかけて

いる。馬が駆け出すと歎声があがる。広がる。補装具を足につけた子が、ここで出

会った友だちとボール遊びをしている。取り

そなつて転がったボールを一緒に来たお父

さんお母さんがあわてて取りにいく。豚汁のみその香りが、ぶーんとただよう。昼食を囲むテーブルの向こうで、アサート、カリンバなどの楽器を鳴らして遊んでいる人たちがいる。本を読んでくれる人のまわりで子供が一

心に耳を傾ける。

これが小田原の乗馬会の風景です。乗馬会には誰もが参加できます。誰もが同じ場所で

お互いに関わりを持つたり持たなかつたりしながら、それでも目のすみにそれぞれを感じながら、それぞれの豊かな時を過ごしている。

そして参加する人はみんなそれぞれ楽しんでいます。そのこと——みんな一緒ということが、今の時代にはとても大切な事だと思うのです。そして、みんなと一緒にすることからどんな発想が出来事が生まれてくるのか、とても楽しみです。本当にこれから何かが動き出していくような気がします。あなたもそれをわたしたちと一緒に体験してみませんか。

☆会の馬(半持ち馬)に格安で乗馬できます

会員、ボランティア会員の方は1000円

で、中学生以下のボランティア会員の方は

無料! (サドルバックにて)

☆小田原市への働きかけ

わんぱくらんど等の運営について、提案を行っていきます。

☆運営委員会

この会を運営、進行していく為に月一回

程度、話し合いを持ちます。

——こんなメンバー・資金で構成しています

☆会員・家族単位で年会費二四〇〇円(4

月切り替え)会費は通信費・事務費・印刷費等に使われます。

□会報(年四回)・乗馬会日程(毎回)

いさんがいる。車椅子で来た人が背筋を伸ばして馬に乗っている。仲間とやつて来てサイドウォーカーをやつしている若者が声をかけて

いる。馬が駆け出すと歎声があがる。広がる。補装具を足につけた子が、ここで出

会った友だちとボール遊びをしている。取り

そなつて転がったボールを一緒に来たお父

さんお母さんがあわてて取りにいく。豚汁のみその香りが、ぶーんとただよう。昼食を囲むテーブルの向こうで、アサート、カリンバなどの楽器を鳴らして遊んでいる人たちがいる。本を読んでくれる人のまわりで子供が一

心に耳を傾ける。

これが小田原の乗馬会の風景です。乗馬会には誰もが参加できます。誰もが同じ場所で

お互いに関わりを持つたり持たなかつたりしながら、それでも目のすみにそれぞれを感じながら、それぞれの豊かな時を過ごしている。

そして参加する人はみんなそれぞれ楽しんでいます。そのこと——みんな一緒ということが、今の時代にはとても大切な事だと思うのです。そして、みんなと一緒にすることからどんな発想が出来事が生まれてくるのか、とても楽しみです。本当にこれから何かが動き出していくような気がします。あなたもそれをわたしたちと一緒に体験してみませんか。

☆会の馬(半持ち馬)に格安で乗馬できます

会員、ボランティア会員の方は1000円

で、中学生以下のボランティア会員の方は

無料! (サドルバックにて)

☆小田原市への働きかけ

わんぱくらんど等の運営について、提案を行っていきます。

☆運営委員会

この会を運営、進行していく為に月一回

程度、話し合いを持ちます。

——こんなメンバー・資金で構成しています

☆会員・家族単位で年会費二四〇〇円(4

月切り替え)会費は通信費・事務費・印刷費等に使われます。

□会報(年四回)・乗馬会日程(毎回)

いさんがいる。車椅子で来た人が背筋を伸ばして馬に乗っている。仲間とやつて来てサイドウォーカーをやつしている若者が声をかけて

いる。馬が駆け出すと歎声があがる。広がる。補装具を足につけた子が、ここで出

会った友だちとボール遊びをしている。取り

そなつて転がったボールを一緒に来たお父

さんお母さんがあわてて取りにいく。豚汁のみその香りが、ぶーんとただよう。昼食を囲むテーブルの向こうで、アサート、カリンバなどの楽器を鳴らして遊んでいる人たちがいる。本を読んでくれる人のまわりで子供が一

心に耳を傾ける。

これが小田原の乗馬会の風景です。乗馬会には誰もが参加できます。誰もが同じ場所で

お互いに関わりを持つたり持たなかつたりしながら、それでも目のすみにそれぞれを感じながら、それぞれの豊かな時を過ごしている。

そして参加する人はみんなそれぞれ楽しんでいます。そのこと——みんな一緒ということが、今の時代にはとても大切な事だと思うのです。そして、みんなと一緒にすることからどんな発想が出来事が生まれてくるのか、とても楽しみです。本当にこれから何かが動き出していくような気がします。あなたもそれをわたしたちと一緒に体験してみませんか。

☆会の馬(半持ち馬)に格安で乗馬できます

会員、ボランティア会員の方は1000円

で、中学生以下のボランティア会員の方は

無料! (サドルバックにて)

☆小田原市への働きかけ

わんぱくらんど等の運営について、提案を行っていきます。

☆運営委員会

この会を運営、進行していく為に月一回

程度、話し合いを持ちます。

——こんなメンバー・資金で構成しています

☆会員・家族単位で年会費二四〇〇円(4

月切り替え)会費は通信費・事務費・印刷費等に使われます。

□会報(年四回)・乗馬会日程(毎回)